

☆☆ Society of Japan Clinical Dentistry ☆☆

日本臨床歯科医学会 東京支部

2018年度 第1回ステップアップミーティングのご案内

深緑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来る2018年7月1日(日)に開催いたします『日本臨床歯科医学会 東京支部 第1回ステップアップミーティング』につきましてご連絡申し上げます。

今回のステップアップミーティングでは午前に**毎回大変好評をいただいております『Pre session』**(別紙の詳細案内参照)を**より内容を充実させ開催**いたします。午後の本会においては、今まで通り会員の先生方に多岐にわたる分野においてケースプレゼンテーションを中心とした発表をしていただきます。最後に宇毛玲先生より『インプラント周囲組織におけるマネージメントの基礎と応用』についてご講演いただきます。

ステップアップミーティングを通じて皆様の日々の臨床のステップアップにつながれば幸いと存じます。なお、今回も会員同士の親睦を深めるためにステップアップミーティング終了後、懇親会を開催します。あわせて皆様お誘い合わせのうえご参加いただけますようお願いいたします。

日時:2018年7月1日(日) 10:00~16:55

(Pre session 10:00~11:40 / 本会 13:00~16:55)

懇親会 17:00~19:00

受付開始:Pre session 9:30~ / 本会 12:30~

場所:お茶の水ソラシティ カンファレンスセンター Hall West(地図別紙参照)

【タイムテーブル】

開場・Pre session 受付開始 9:30

開会 10:00

10:00~11:40 Pre session

休憩 11:40~13:00 本会受付開始 12:30

13:00~13:05 会長挨拶

13:05~13:50 井関真良 先生 (Uke Dental Office)

「MTAセメントの可能性を感じた一症例」

(座長:加部聡一 先生)

13:50~14:35 雨宮啓 先生 (藤沢歯科ペリオ・インプラントセンター)

「咬合高径の確保にインプラントを用いた補綴修復治療」

(座長:加部聡一 先生)

賛助企業ご挨拶、休憩 14:35~15:00

15:00~15:45 町田真吾 先生 (荻窪ツイン歯科医院)

「エステティックエリアにおけるインプラントのリスクマネージメント」

(座長:加部聡一 先生)

休憩 15:45~16:00

16:00~16:55 宇毛玲 先生 (Uke Dental Office)

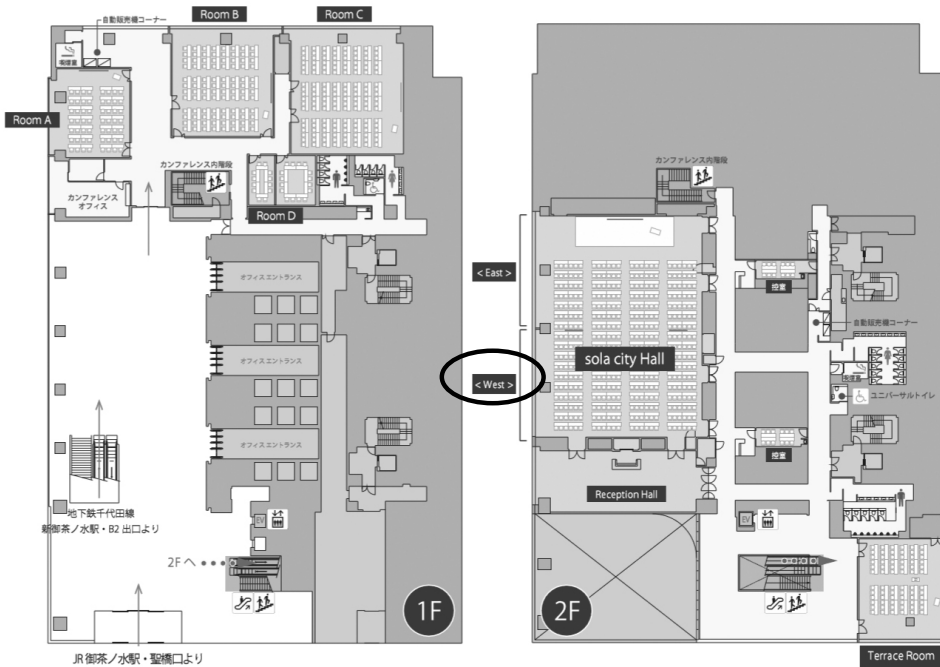
「硬軟組織のマネージメントの基礎と応用」

閉会 16:55

懇親会 17:00~19:00

- *東京 SJCD の会員は、入場の際QRコードが必要となりますので必ずご持参ください。
- *東京 SJCD の会員は無料で御参加頂けます。事前の予約等は必要ありませんので当日直接、会場へお越し下さい。
- *一般のビジターは Dr.3 万円・Dt.1 万 5 千円・Dh.9 千円となります。(予約不要)
- * 会員登録は入会された本人に限り有効です。例会・分科会等への代理参加は、同じ医院にお勤めでもお受け致しかねますのでご了承ください。
- ※講演中の撮影はご遠慮ください。

会場 お茶の水ソラシティ カンファレンスセンター Hall West (<http://solacity.jp>)
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 TEL 03-6206-4855



交通案内 JRをご利用の場合

- ・JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 聖橋口より、徒歩1分

地下鉄をご利用の場合

- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B2出口1直結
- ・東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 出口1より、徒歩4分
- ・都営地下鉄新宿線「小川町」駅 B3出口より、徒歩6分



「MTAセメントの可能性を感じた一症例」

Uke Dental Office

井関 真良 先生

【略歴】

1999年 日本歯科大学 卒業

1999年 (財)日本歯科研究研修協会 霞が関診療所 勤務

2003年 大西歯科医院 勤務

2010年 Uke Dental Office 勤務

【所属】

日本臨床歯科医学会東京支部 会員・JARD 会員・日本歯内療法学会 会員

日本顕微鏡歯科学会 会員

【抄録】

ペールアクセルソンは、定期的なメンテナンスにおける歯の喪失原因の第1位は破折であると報告しております。ご存知のように生活歯と失活歯を比べると、失活歯の方がはるかに破折を起こしやすいので、抜髄を回避することが出来れば、歯髄及び健全歯質の保存が可能になり、最終的にはその歯を長持ちさせることができると私は考えております。今回は、カリエスが大きく従来であれば抜髄となる歯に対し、MTAセメントを用い部分断髄、完全断髄を試み歯髄の保存を図った一症例を発表させていただきます。

「咬合高径の確保にインプラントを用いた補綴修復治療」

藤沢歯科ペリオ・インプラントセンター

雨宮 啓 先生

【略歴】

1999年 東京歯科大学歯学部卒業

2003年 東京歯科大学大学院(歯科麻酔学)修了

2003年 白鳥歯科インプラントセンター勤務

2009年 藤沢歯科ペリオ・インプラントセンター 開設

2017年 CDAC (Clinical Dental Anesthesiologist Club) 設立

【所属】

日本歯科麻酔学会認定医・日本臨床歯周病学会認定医・日本歯周病学会歯周病専門医

日本口腔インプラント学会専門医・CDAC (Clinical Dental Anesthesiologist Club) 代表

【抄録】

患者は71歳、女性。2014年11月に下顎左側臼歯部欠損部のインプラント治療を希望し来院。上顎右側臼歯部と下顎左側臼歯部は欠損し、顎位の低下が確認できる。補綴クリアランスが少ないことから、インプラントを用いた咬合挙上を検討し、臨床歯冠高径やセファロレントゲンを参考に咬合高径を決定した。プロビジョナルレストレーションにて水平的・垂直的に顎位の安定する位置を検討し、最終上部構造へ移行。最終上部構造装着から2年が経過し、良好に経過しているが、垂直的な顎位を検討する中でプロビジョナルレストレーションがもたらす変化から、たくさんの気づきを得ることができた。そこで今回、咬合高径の挙上に際して考慮したポイントを整理しながら症例報告させていただきます。

「エステティックエリアにおけるインプラントのリスクマネジメント」

荻窪ツイン歯科医院

町田 真吾 先生

【略歴】

2007年 日本大学歯学部卒業

2007年 日本大学歯学部研修診療部 入局

2008年 天川デンタルオフィス外苑前 勤務

2008年 中野デンタルクリニック 勤務

2015年 荻窪ツイン歯科医院 開院

【所属】

日本臨床歯科医学会・スタディーグループ 赤坂会・日本顎咬合学会・日本歯周病学会

日本口腔インプラント学会

【抄録】

抜歯前の術前評価が大事なのは周知の事実であります。歯牙を失う事により、特に前歯部領域においては硬・軟組織の損失が著しく起こり、難易度が増します。つまり、欠損の拡大を防ぐ事が大切になります。

今回の症例では、上顎左側中切歯と側切歯の根尖病変の問題を抱えている患者さんに対し、側切歯はマイクロスコープを用いた予後の見極めを行い保存する事により、中切歯のシングルスタンドインプラントで対応できた症例を供覧し、皆様とディスカッションしたい。

「硬軟組織のマネジメントの基礎と応用」

Uke Dental Office

宇毛 玲 先生

【略歴】

1992年 明海大学歯学部卒業

1994年 山の手歯科医院勤務

2005年 ウケデンタルオフィス開業

【所属】

日本臨床歯科医学会会員・日本歯周病学会会員・EA0 会員・A0 会員

【抄録】

抜歯後に起きる水平、垂直的な頬側骨の吸収はその後のインプラント埋入に多大な影響を与えることがある、特に前歯部においては患者の審美的要求が高いため症例においては難易度が増加する、また臼歯部においてもインプラントを適応する際に天然歯部とインプラント部との歯槽骨の連続性が維持されていなければ、後々その清掃性やメンテナビリティが不良になる、それら問題点を改善するためになんらかの組織のオギュメンテーションが必要であるがその方法やマテリアルは複雑多岐にわたり、経験の浅い術者においては混乱することは予想だにしない。

今回、私が組織のオギュメンテーションを行うにあたり、考慮している事項、インプラントサイトの診査、診断、それに対して行う治療の選択肢、マテリアルについての考察、加えてその予知性について解説する。